

18春闘「大敗北」総括…認識一致ならず。
秋のたたかいで実践してきた成果や教訓を共有!



2018年12月7日(金)、第48回全支部青年部長会議を開催し、支部青年部長や地本青年部代表者が結集しました。JR東労組を取り巻く情勢について認識一致を図り、12地本青年部が総団結し、現実を突破していくためにも、秋のたたかいで実践してきた成果や教訓を共有してきました。秋のたたかいで掲げたスローガン「事実と真実から18春闘を総括し、青年部員の『信頼回復』と『組織強化・拡大』に向けて奮闘しよう!」に基づき、18春闘の主体的総括なくして、次なるたたかいには進めないことから、12地本青年部が「心ひとつ」にできるよう18春闘の総括議論を行いました。

多くの支部青年部、地本青年部の仲間から、18春闘において自らに向き合った総括を行うとともに、定期委員会等でも青年部員との議論を通じて「大敗北」であったことを総括してきたことや、今後の組織強化・拡大に向けて実践していく決意も語られました!一方、18春闘の「大敗北」は、定期大会や青年部定期委員会でも議論し決定してきたはずですが、「18春闘は、大敗北でも大勝利でもどっちでもない」「自分が総括できていない」「時間がなくて支部青として総括が出来ていない」との見解が一部から示されました。そのような中「組合員・青年部員の声から大敗北であると主体的に総括し、脱退させてしまった組合員・青年部員と向き合っている」「そもそも総括が出来ていないというのはおかしい」等、認識一致を図ろうと努力した仲間もいましたが、大変残念なことに、一部の地本青年部、支部青年部と認識一致を図ることが出来ませんでした…。

第1回全地本青年部代表者会議と中央常任委員会で水戸地本青年部に「大宮は指名ストを5名しか決意していない」というデマ情報について、どこから出回っているのか調べ、全支部青年部長会議で報告するとなっていました。報告された内容は不十分であることが確認されました。さらに八王子地本青年部には、不正行為をした役員の辞任について、正しい事実関係が伝わっていないため議論を求めていましたが不十分であることが確認されました。

真実公社なる所が開設している「真実の声」については、組織破壊HPであることを改めて全参加者で確認しました。

12地本青年部が真に団結し、職場の仲間とともに組織強化・拡大を実現しよう!